

車いすテニスの試合を撮影する学生と教員



# 動画撮影 ネット配信

「つなぐカフェ@飯塚」の学生

飯塚国際車いすテニス大会を主催するNPO法人九州車いすテニス協会（飯塚市）は、2020年の東京パラリンピックに向けて競技を広く知ってもらおうと、今年から大会の様子を動画で配信している。撮影は、学生と企業、市民の交流の場「つなぐカフェ@飯塚」に参加する学生計10人が行っている。

学生たちは毎日交代で会場に入り、手持ちカメラで試合を撮影してネットでライブ配信。固定カメラで撮影した試合は、編集してダ

イジエスト版で配信する。車いすのメンテナンスタなどに携わるボランティアや、小学生が観戦に訪れて選手と交流する様子など、大会のPR動画も作成。いずれも動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」の同協会専門チャンネルで配信している。

大川内優人さん（18）は「世界で活躍する選手が集う大会に携わることができてうれしい。多くの人に動画を見てもらいたい」と話している。

（丸田みずほ）